

株式会社ジェイコムイースト 世田谷局 調布局

2014年度 放送番組審議会 議事録

2014年度 株式会社ジェイコムイースト世田谷局、調布局 合同放送番組審議会は、2015年2月24日(火) 世田谷局で開催された。

<放送番組審議会委員> (五十音順)

ご出席

城戸	雅幸様	吉良	雅彦様
齊藤	亀三様	杉田	剛様
張堂	完俊様	戸塚	匡様 ※小澤委員の代理

事業者側から局の現況報告及び J:COM チャンネルの報告があった。

【質疑応答・意見交換】(齊藤会長による進行)

(J:COM チャンネルで議会中継)

委員 J:COM チャンネルでは、市・区議会の中継を行わないのか。

事業者 現在、議会中継は実施していないが、住民にとっては有益な情報であると考えているので、行政と連携を図りながら可能性を探りたい。

委員 調布市では、議会中継をインターネットで行っている。以前、J:COM チャンネルでは市長の施政方針演説を中継した実績がある。

委員 狛江市は、昨年9月よりインターネット中継を始めた。庁舎2Fのロビーでも、会期中は市民の方に生中継をご覧いただいている。

委員 世田谷区でも本会議の様相をインターネット中継で実施しており、庁舎1Fの大型モニターで放映している。キャロットタワー内でも放映している。

事業者 世田谷区では区長の定例記者会見の様相を取材している。その様相は、生放送ではないが、その日のニュースに組み込むことも可能である。

委員 インターネット中継は、主体的に視にいかないといけませんが、テレビではザッピングでその番組に止まることもある。生放送でなくとも再放送化も含めて検討してもらいたい。

(防災行政無線の料金)

委員 防災行政無線は、いくらで設置ができるのか。

事業者 J:COMの何らかのサービスに加入している方は、月額300円で設置が可能である。加入されていない方は、500円にて提供している。

通常時は、FMラジオとしても使用でき、緊急時には外への持ち運びも可能である。放送の優先度としては、行政からの発報より緊急地震速報が第一優先となる。

委員 防災行政無線は、調布FMはじめ地域FMとも連携、宣伝を取ってほしい。

(記者会見の取材)

委員 調布市では、今年からMXテレビで記者会見を放送するようになった。

地域密着のテレビ局として、J:COMチャンネルでも同じように放送化を検討いただきたい。

事業者 記者会見は、J:COMチャンネルでも積極的に取材させていただきたい。

(地域をよりセグメントした情報番組を)

委員 地域情報番組『ジモトピ』だが、世田谷に住んでいて、調布、狛江を「地元」と言われると違和感がある。世田谷区なら“世田谷の番組”、“調布市なら調布の番組”といったエリアを特定、凝縮した番組作りをお願いしたい。地元の感覚とは、そういったものだと思う。「地元」を絞って学校や商店街、イベントの特集があってもいい。

広域情報は、MXテレビでもやっているのので、J:COMが発信する情報は、もっとエリアを細かくしてもいいのではないかな。

生放送は時間を拡大しているので、番組内で特定のエリア向けの構成枠があってもいい。

事業者 ご指摘のご意見は、我々が目指すべきところかと思う。ただ、エリアをどこで分けるかは、難しい判断がある。各エリアによって、ニーズも異なるが、よりエリアをセグメントした放送化を検討したい。

住んでいる地元の情報を知りたい方もいれば、もう少し広い周辺の情報を得たい方もいらっしゃる。J:COMが大きくなり、やや地元情報の発信が薄くなったが、地元情報をもう少し厚くしていこうという方向に向かっている。今後は、今まで以上に“濃い地元情報”が届けできると考えている。

(タレントに頼らない番組作り)

委員 制作費の問題として、番組にはタレントを起用しなくてもいいと思う。社員スタッフが出演してもいいのではないかな。コミュニティチャンネルには、知名度のあるタレントの出演を期待していない。タレント目当てであれば、民放を視たらいい。

(イベント事前告知の前倒し)

委員 祭りなどイベントの告知では、過去の映像も使いながら1週間ほど前から告知放送することもしたらいいのではないかな。直前の告知でないほうが集客にもつながる。

事業者 情報発信は、未来形に重きを置いている。現在も文字放送や過去映像を活用して告知放送をしている。イベントの情報出しは、内容によっては、1週間前では、早すぎるので、3日前程度からの放送を心掛けている。

情報をどう吸い上げるかということが重要であると考えている。日頃から地域住民、行政、商工会等とのパイプを構築して、逐一、情報を拾い上げることが出来れば、生活情報を前もって提供することができる。我々だけでは網羅できない情報収集の強化に努めたい。

(地域に特化したシリーズ番組)

委員 世田谷、調布、狛江といった地域に特定したシリーズ化企画は、どの程度あるのか。

事業者 現在は、該当する番組はないが、過去はシリーズ化した番組も制作していた。リサーチを基に、例えば全国大会に出場する過程を取材するドキュメンタリー番組など、取材対象を長期間追っかける番組作りも検討したい。

(地元イベントの取材対象拡大)

委員 番組審議委員や選抜された地域の方々に向けて、年1、2回でも J:COM チャンネルで、どんなイベントの取材実績を提示して、これ以外に取材対象となるものがあれば推薦いただくことで新たな取材対象が発掘できるのではないかと。それを翌年でも取材することを検討して欲しい。

事業者 地域の皆さんから取材対象を伺う機会は、非常に有難い。ご意見を通して、番組化することも一つの考えである。“地域特派員”の制度を設け、そのの方々からのお知恵を参考にする方法もある。

(視聴者からの投稿映像の活用)

委員 アマチュアによる様々な投稿映像は、視聴者には喜ばれるのではないかと。毎回、新しい映像を紹介するよう J:COM が道筋を作っておけると、投稿者も増えるだろう。自然、イベント、面白映像などカテゴリーに分けて適宜、放映したらいい。どの映像を採用するかは、チャンネル側にあることを明確にしたうえで。

(地域の無名な神社仏閣の紹介)

委員 趣味も多様化しており、知名度はなくても、地域の小さな寺や神社を散策する企画は、地域の方や神社仏閣好きな方にとって面白いかもしれない。

事業者 地域の情報番組内で、コーナー化とすることも可能である。参考にしたい。

(「戦後70周年」の特集)

委員 今年は、戦後70年だが、当時の模様を伝える特集も検討してほしい。

以上